

## 第3章

---

### 中心市街地活性化への課題整理と取組方針

### 第3章 中心市街地活性化への課題整理と取組方針

#### 1. 中心市街地活性化への課題

上位計画である「都心部グランドデザイン」のコンセプトとして掲げた「中核都市宇都宮にふさわしい賑わいと高次な都市機能を備えた多様性のあるまち」の実現に向けて、中心市街地を取り巻く時代潮流や現状、第2期計画の総括などを踏まえ、今後の中心市街地活性化に向けた課題について、以下のとおり整理します。

<b>課題1</b>	<b>多様な主体による様々な活動の活発化【経済・活力】</b>
------------	---------------------------------

- ・消費者や来街者の意向を踏まえた経済活動の活発化
- ・事業所等の進出の促進等による働く場の創出

<b>課題2</b>	<b>時代潮流等を踏まえた街なかの魅力の向上【個性・風格】</b>
------------	-----------------------------------

- ・来訪意欲を高める魅力的な街なかの形成
- ・地域資源や低・未利用地等を最大限活用した魅力の創出

<b>課題3</b>	<b>日常的に人が交流するための環境の整備【交流・賑わい】</b>
------------	-----------------------------------

- ・街なかを歩いて楽しむための憩い・交流空間等の充実
- ・市民や来街者が快適に回遊できる魅力あるスポットの創出

<b>課題4</b>	<b>多世代や多様な世帯の中心市街地への居住の誘導【生活・居住】</b>
------------	--------------------------------------

- ・多様な世代・世帯の居住促進
- ・まちの活力を維持するため、多世代が交流・繋がるコミュニティを醸成

<b>課題5</b>	<b>市民生活や様々な活動を支える都市機能の集積【高次都市機能】</b>
------------	--------------------------------------

- ・ネットワーク型コンパクトシティの都市拠点の形成を推進するため、医療・福祉・商業・文化・芸術など、快適で利便性の高い市民生活や様々な活動を支える都市拠点にふさわしい都市機能の充実
- ・LRT導入や「Ma a S」の活用を見据えた公共交通等の移動手段・方法の充実
- ・駅東口地区のまちびらきによる活性化の効果の中心市街地全体への波及

<b>課題6</b>	<b>活性化に向けた取組を推進するための仕組みの強化【仕組み】</b>
------------	-------------------------------------

- ・民間団体等による活性化の取組を包括的・効果的に推進するための仕組みの強化

## 2. 中心市街地活性化の取組方針

上記で整理した中心市街地活性化への課題解決に向けて、必要な要素を整理し、以下のように5つの取組方針を設定しました。

なお、これらの方針は、それぞれ独立したものではなく、相互に連携・補完し合うことで、活性化の好循環を生み出すものです。

### 《方針1》活力

**「人・モノ・情報」を呼び込み、様々な活動を活発化させるまちづくり**

LRTの開業や駅東口地区のまちびらき等による環境変化等を見据え、高次な都市機能を集積することで、多様な体験ができ、様々な活動が促進されるまちづくりを進めます。

### 《方針2》魅力

**街なかの魅力を高め、多くの人を惹きつけるまちづくり**

日本遺産に認定された「大谷石文化」の構成文化財等をはじめとする地域資源や低・未利用地等の最大限の活用を図りながら、街なか独自の個性や価値を向上させるまちづくりを進めます。

### 《方針3》賑わい

**多くの人交流し、恒常的な賑わいを生むまちづくり**

誰もがアクセスしやすい便利で快適な交通環境の整備や、多くの人街なかの魅力資源や多彩なイベント等を楽しみながら回遊し、恒常的に行き交うまちづくりを進めます。

### 《方針4》居住

**多世代が住み続けられる安心・快適なまちづくり**

生活利便機能等が充実し、誰もが豊かに暮らせる住環境の整備や、人と地域をつなぐコミュニティを醸成するまちづくりを進めます。

### 《方針5》仕組み

**活性化のための様々な取組を促進する仕組みづくり**

将来像の実現に向けた活性化を着実に推進するため、様々な団体・個人等の取組を総合的・一体的にマネジメントする仕組みを構築・強化します。

## 「好循環」とは

### <STEP1>

多様な都市機能の集積や円滑に移動できる交通環境が整備されることで、企業活動や消費活動などの経済活動の場として、様々な主体による多様な活動が活発に行われる場となり、「活力」が生まれる。それにより多くの人が行き交い、交流が生まれることで、「人・モノ・情報」が呼び込まれ、「活力」と「賑わい」が創出される。

### <STEP2>

「活力」と「賑わい」のある状態が創出されることで、多くの人々が中心市街地に憧れ、来訪するまちとなり、来訪者の様々な需要が高まり、それを満たすための「魅力」や個性を高める動きにつながり、多くの人々が中心市街地に住みたいと思う街なかになる。

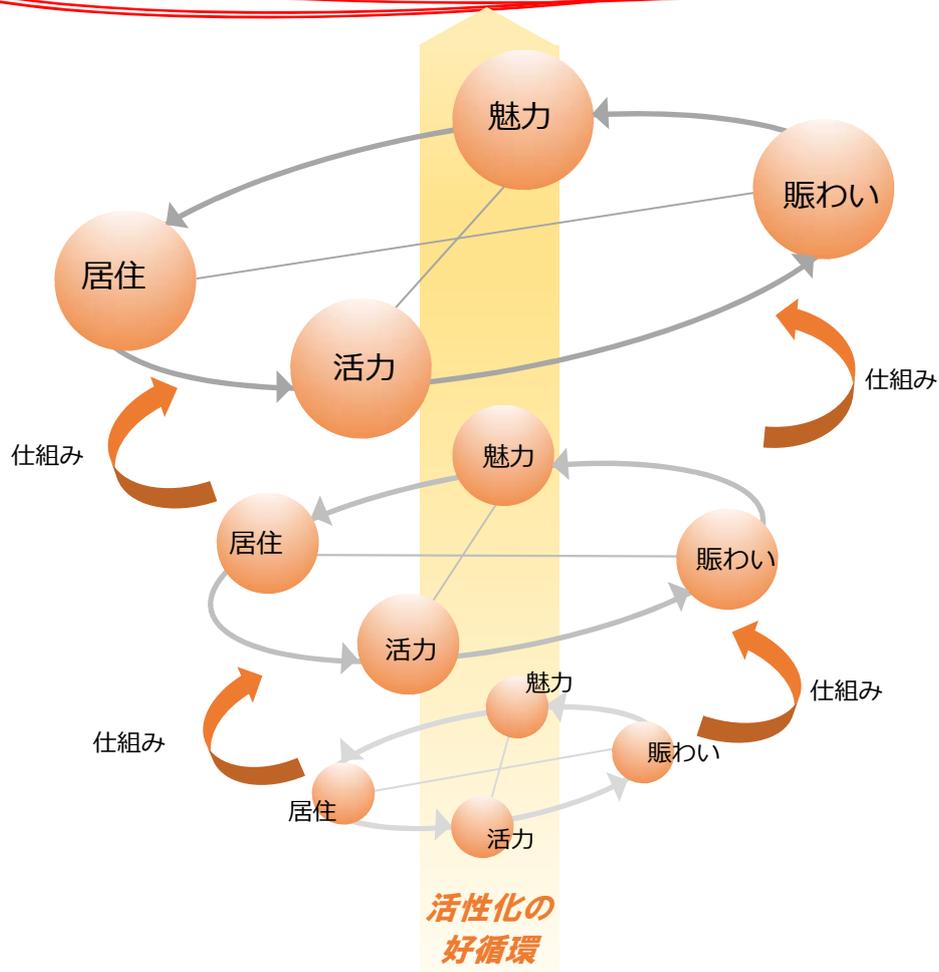
### <STEP3>

そのことにより、多世代の多くの人々が「居住」することで、中心市街地で様々な活動を行う人が増え、次なる「活力」が生まれるといった「まちづくりの好循環」につながっていく。

### <STEP4>

さらに、活性化を推進するための「仕組み」により、好循環が広がり、より迅速かつ効果的な活性化を実現していくものとする。

## 中核都市宇都宮にふさわしい 賑わいと高次な都市機能を備えた多様性のあるまち



■概念図

## 第4章

---

### 中心市街地の活性化の目標

## 第4章 中心市街地の活性化の目標

### 1. 中心市街地の将来像

中心市街地活性化の取組方針に基づき課題が解決された状態として、本市が目指す中心市街地の将来像を以下のとおり設定します。

## うごく つながる 心躍る みんなで創る 宮の街なか

街なかには、人々を魅了する機能があり、空間があり、それらを支える仕組みがあります。その結果、人々が集い、住まい、交流し、様々な変革が起き、持続可能な活力と賑わいが生まれます。それが、宇都宮の中心市街地です。



### うごく

方針との関係・・・《活力》・《居住》

「うごく」には、LRTが走り、ICT技術などを活用しながら多様な活動が行われ、新たな産業が興り、働く人・住む人が増えるという意味を込めている。



### つながる

方針との関係・・・《賑わい》・《居住》

「つながる」には、人と人が結び付き、多様な交流が生まれるとともに、様々な情報が収集・発信され、「人・情報」がつながる、また、LRTにより駅東口と駅西口がつながる、宇都宮と他の都市がつながるという意味を込めている。



### 心躍る

方針との関係・・・《魅力》

「心躍る」には、人を惹きつける魅力的な空間が形成され、街なかを訪れ、楽しむ人が増えるという意味を込めている。



### みんなで創る

方針との関係・・・《仕組み》

「みんなで創る」には、官民の様々な団体・個人が主体的に多彩な取組を連携・補完し合いながら進めることで、未来の街なかを築き上げていくという意味を込めている。

## 2. 中心市街地の活性化に向けた施策と施策目標

中心市街地の将来像である「うごく つながる 心躍る みんなで創る 宮の街なか」を実現するため、以下の5つの施策を設定し、それぞれの施策目標の達成に向け、各種活性化事業を推進します。

また、各施策に基づく取組を着実に推進することで、それぞれの施策に関連するSDGs（持続可能な開発目標）におけるゴールの達成にも貢献していきます。

### 【施策1】《活力》様々な活動を活発化させる基盤づくり

【関連するSDGsのゴール】

**施策目標：誰もが多様な活動を活発に行い、活力に満ちた状態**

LRTの開業やJR宇都宮駅東口地区のまちびらきを契機に、人・モノ・情報が集まり、多様な高次都市機能が集積する活力あふれる都市空間を構築し、様々な活動を活発化させる取組を推進していきます。

【取組の方向性】

- 活力を生み出す都市空間の整備
- 活力を生み出す都市機能の誘導
- 公共空間等の利活用による活力向上
- 魅力ある商店街事業の実施による活力向上策



### 【施策2】《魅力》都市拠点にふさわしい個性や価値の向上

**施策目標：都市拠点ならではの個性や価値が高まり、魅力にあふれている状態**

中心市街地ならではの独自の個性や価値を向上させる魅力にあふれた都市空間を構築し、多くの人々を惹きつける取組を推進していきます。

【取組の方向性】

- 積極的な情報発信による魅力向上
- 魅力あふれる景観形成
- 魅力向上に向けた地域資源の活用
- 都市空間の演出による魅力向上



### 【施策3】《賑わい》恒常的な賑わいを創出する環境づくり

**施策目標：誰もが楽しく回遊・交流できる環境が整備され、賑わいに満ちている状態**

誰もがアクセスしやすい便利で快適な交通環境の整備や多くの人が街なかを楽しみながら回遊し、恒常的に行き交うことのできる都市空間を構築する取組を推進していきます。

【取組の方向性】

- 交通環境の整備による賑わいの創出
- 都市空間の整備による賑わいの創出
- ICT技術の活用による賑わいの創出
- イベント・交流事業の実施



## 【施策4】《居住》安心して快適な住環境の創出

**施策目標：誰もが愛着と誇りをもって豊かに住み続けられる暮らしやすいまちが形成された状態**

民間開発による良好な住宅の供給や中心商店街における生活支援サービスの充実など、居住を促す取組を推進するとともに、多世代がいつまでも住み続けられるように、人と地域をつなぐコミュニティを醸成する取組を推進していきます。

【取組の方向性】

- まちなか居住の促進
- 居住環境の整備



## 【施策推進のために】《仕組み》様々なまちづくりの取組を促進する仕組みの強化

**施策目標：多様な主体が連携・補完し合いながら、活性化に向けて実効性の高い多彩な取組を進めている状態**

多様な主体が連携・補完し合いながら、活性化に向けて実効性の高い多彩な取組を推進するため、様々な団体・個人等の取組を総合的・一体的にマネジメントする仕組みを強化していきます。

【取組の方向性】

- 更なる活性化を推進するための仕組みづくり



### 3. 中心市街地の活性化戦略

本市中心市街地の目指す将来像を実現するためには、総合的かつ一体的に活性化事業を推進していくことが重要です。特に、計画期間内に予定されているLRTの開業と駅東口のまちびらきによる様々な効果を中心市街地に波及させるため、また、LRTの駅西側への導入を見据え、まちづくりを効果的に進めるため、以下の活性化戦略に基づいて、活性化事業の効果的かつ着実な推進を図ります。

#### (1) 活性化戦略1 LRT開業と宇都宮駅東口地区のまちびらきによる集客効果を波及させる戦略プロジェクト

計画期間内に予定されているLRTのJR宇都宮駅東側の開業と宇都宮駅東口地区のまちびらきにより、JR宇都宮駅周辺の「JRコア」への広域からの「人・モノ・情報」の集積や、交流人口の増加などの様々な効果が見込まれることから、このことを中心市街地のまちづくりを進めていく上での好機と捉え、その効果を最大限に生かし、JRコアに集まる賑わいを駅西側の「センターコア」に波及させ、中心市街地全体の活性化に繋げていくことが重要です。

そのためには、LRTの開業と駅東口地区のまちびらきにより、インバウンドを含めた観光、コンベンションなどを通じて市内外や広域から多くの集客が見込まれることから、こうした来街者を駅西側に誘引し、購買行動を喚起し、活発化させるため、インバウンドに対応した購買・観光等の環境整備、夜間における街なか観光などのアフターコンベンション機能の充実等について、センターコアを中心として進めることで、街なかの魅力や価値を高め、来街者の来訪意欲や活動意欲を喚起し、回遊しやすい環境づくりを進めていきます。

このような環境整備とともに、駅東口の集客を駅西側で受け入れ、来街しやすい移動環境の充実を図ることで、中心市街地全体に賑わいが波及することを目指します。

これらの取組に当たっては、中心市街地全体を総合的に見渡しながらか、様々な活性化の取組を有機的に結び付け、効果的・効率的に推進していくことが必要であることから、その基盤となる仕組み・体制を構築していきます。



## 駅東口に集まる賑わいを 中心市街地全体に波及

### 【STEP1】

#### 活性化のための基盤や仕組み・体制が構築されている

- ・ LRT の整備と JR 宇都宮駅東口の地区整備事業が進んでいる状況
- ・ 活性化の仕組み・体制が構築されている状況
- ・ 多様な主体が連携しながら、活性化のための様々なイベントや活動などが効果的・効率的に展開されている状況

#### 【戦略事業】

- ◎JR 宇都宮駅東側への LRT の導入
- ◎JR 宇都宮駅東口地区整備の推進
- ◎エリアマネジメント促進事業
- ◎街なか全体のマネジメント促進に向けた体制強化
- ◎MICE等の誘致強化
- ◎冬の夜間景観賑わい創出事業
- ◎夜の街なか回遊促進事業
- ◎空き店舗活用事業
- ◎拠点広場における賑わい・交流向上事業
- ◎都市ブランド戦略の推進
- ◎釜川整備活用事業
- ◎魅力ある景観づくり事業
- ◎大谷石を活用した賑わい創出事業
- ◎餃子通りの魅力創出
- ◎国際的スポーツイベントと連携した街なかの賑わい創出事業
- ◎愉快的街の得するゼミナール「まちゼミ」事業

### 【STEP2】

#### 駅西側において、来街者の来訪意欲や活動意欲を喚起し、回遊しやすい環境ができています

- ・ 来街者の購買行動や多様な活動が喚起されるような環境が整備されている状況
- ・ 駅東口のアフターコンベンション機能が駅西側に充実している状況
- ・ 街なかの回遊を促進する魅力や価値が充実しつつある状況

#### 【戦略事業】

- ◎魅力ある商店街形成事業
- ◎「自転車のまち宇都宮」の推進
- ◎ICT を活用した観光情報の発信
- ◎街なか「おもてなし」推進事業
- ◎情報発信・収集が可能なデジタルサイネージの導入
- ◎インバウンド促進事業
- ◎キャッシュレス決済システム導入の促進
- ◎街なか誘客のための情報発信の強化

### 【STEP3】

#### 駅東口からの来街者を駅西側で受け入れるための移動環境が整っている

駅東口への来街者が駅西側にも来街しやすい移動環境が整っている状況

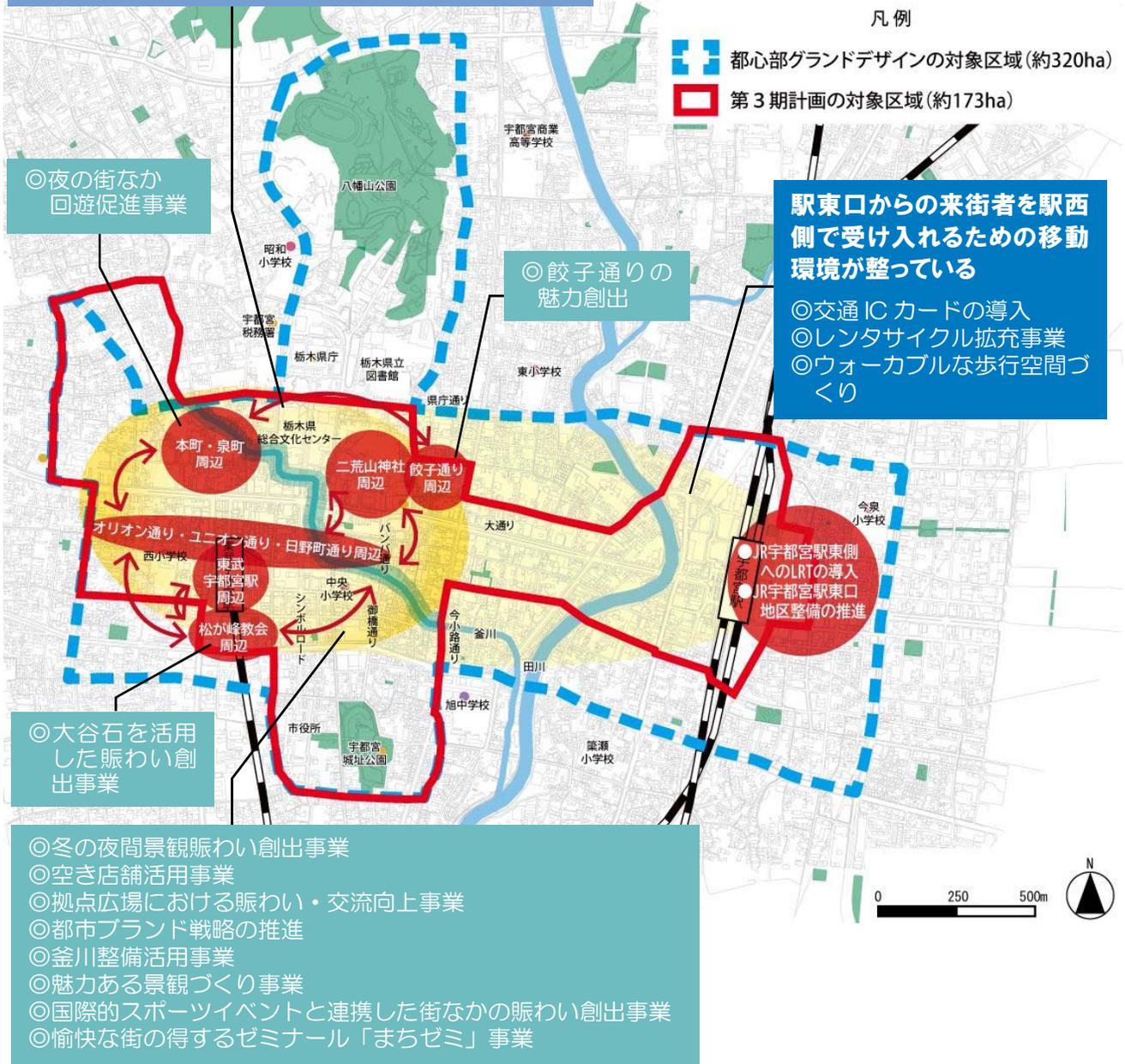
#### 【戦略事業】

- ◎交通 IC カードの導入
- ◎レンタサイクル拡充事業
- ◎ウォークアブルな歩行空間づくり

※ 【STEP1】から【STEP3】までの取組については、優先順位を意識しながら包括的に取組を実施することで、駅東口に集まる賑わいを中心市街地全体に波及させるための環境づくりを進めていく。

**駅西側において、来街者の来訪意欲や活動意欲を喚起し、回遊しやすい環境ができている**

- ◎魅力ある商店街形成事業
- ◎「自転車のまち宇都宮」の推進
- ◎ICTを活用した観光情報の発信
- ◎街なか「おもてなし」推進事業
- ◎情報発信・収集が可能なデジタルサイネージの導入
- ◎インバウンド促進事業
- ◎キャッシュレス決済システム導入の促進
- ◎街なか誘客のための情報発信の強化



**活性化のための基盤や仕組み・体制が構築されている**

- ◎エリアマネジメント促進事業
- ◎街なか全体のマネジメント促進に向けた体制強化
- ◎MICE等の誘致強化

**■活性化戦略1のイメージ**

## (2) 活性化戦略2 LRTの駅西側への導入を見据えたまちづくりプロジェクト

LRTの駅西側への導入は、中心市街地のまちの姿や在り方を大きく変える契機となることから、その導入を見据え、その効果を最大限にまちづくりに活かしていくための取組を着実に進めることが重要です。

LRTの効果を最大限に活かしていくためには、中長期的な視点から、LRTの導入を前提とした「ひと中心」の都市空間を形成し、新たなブランド価値を創出することで、多くの人が集い、交流し、活動する活性化の好循環を生み出す環境・基盤を整備していく必要があります。

このような環境・基盤づくりとして、LRT導入と合わせた快適な移動環境を創出するため、バスや自転車などの2次交通の充実など、中心市街地にアクセスしやすく、移動しやすい環境づくりに向けた取組を進めるとともに、道路空間の再編をはじめ、公共空間等を有効活用し、「ひと中心」の居心地が良く歩いて楽しいウォークアブルな空間づくりに向けた取組を進めていきます。

併せて、LRT沿線を中心として、多くの人々の交流や活動を促進させる基盤づくりを進めるため、まずは、地元のまちづくり機運を高めていき、交通結節点における拠点化の促進や停留場周辺などにおける民間による開発の動きを促進させるとともに、LRTと調和した街並みの形成を図るなど、魅力的な都市空間の創出に向けた取組を進めていきます。

これらの取組に当たっては、「LRTの駅西側への導入」に向けた動きと連動しながら、「快適な移動環境の創出」と「LRT沿線の基盤整備」によるまちづくりを一体的に進めていくことで、持続的な活性化の好循環を生み出す環境・基盤を創出していきます。



LRTと連携した「ひと」中心の都市空間を形成し、  
 中心市街地の新たなブランド価値を創出することで、  
 多くの人交流し、活動する  
 活性化の好循環を生み出す環境・基盤を整備

LRTの導入と合わせた  
 快適な移動環境が充実している

LRTの  
 駅西側への導入

LRT沿線において  
 多くの人の交流や活動を  
 促進させる  
 基盤が充実している

移動しやすい環境づくりが  
 進められている

- ・ バスや自転車など、LRTの導入に合わせた2次交通の充実等に向け、中心市街地にアクセスしやすく、移動しやすい環境づくりに向けた動きが始まっている状況
- ・ LRTの導入に合わせた「ひと中心」の快適な歩行空間の創出や、公共空間を活用した憩いと賑わい空間の創出など、「ウォーカブルな空間づくり」に向けた取組が始まっている状況

**【戦略事業】**

- ◎バス路線の充実
- ◎「自転車のまち宇都宮」の推進
- ◎レンタサイクル拡充事業
- ◎交通ICカードの導入
- ◎駐車場の適正配置の推進
- ◎ウォーカブルな歩行空間づくり
- ◎公共空間の利活用促進

LRT沿線の整備に向けた動きが出てきている

- ・ 交通結節点における拠点化の促進や停留場周辺における整備に向けた動きが始まってきている状況
- ・ LRT沿線における基盤整備に合わせ、LRTと歩行空間が調和した街並みを形成するための取組が進められている状況

**【戦略事業】**

- ◎JR宇都宮駅西口周辺地区の整備
- ◎二荒山神社周辺における市街地再開発事業の促進
- ◎東武宇都宮駅周辺地区まちづくりの推進
- ◎LRTの駅西側導入を見据えたまちづくり推進事業

LRT沿線のまちづくりの機運が高まってきている

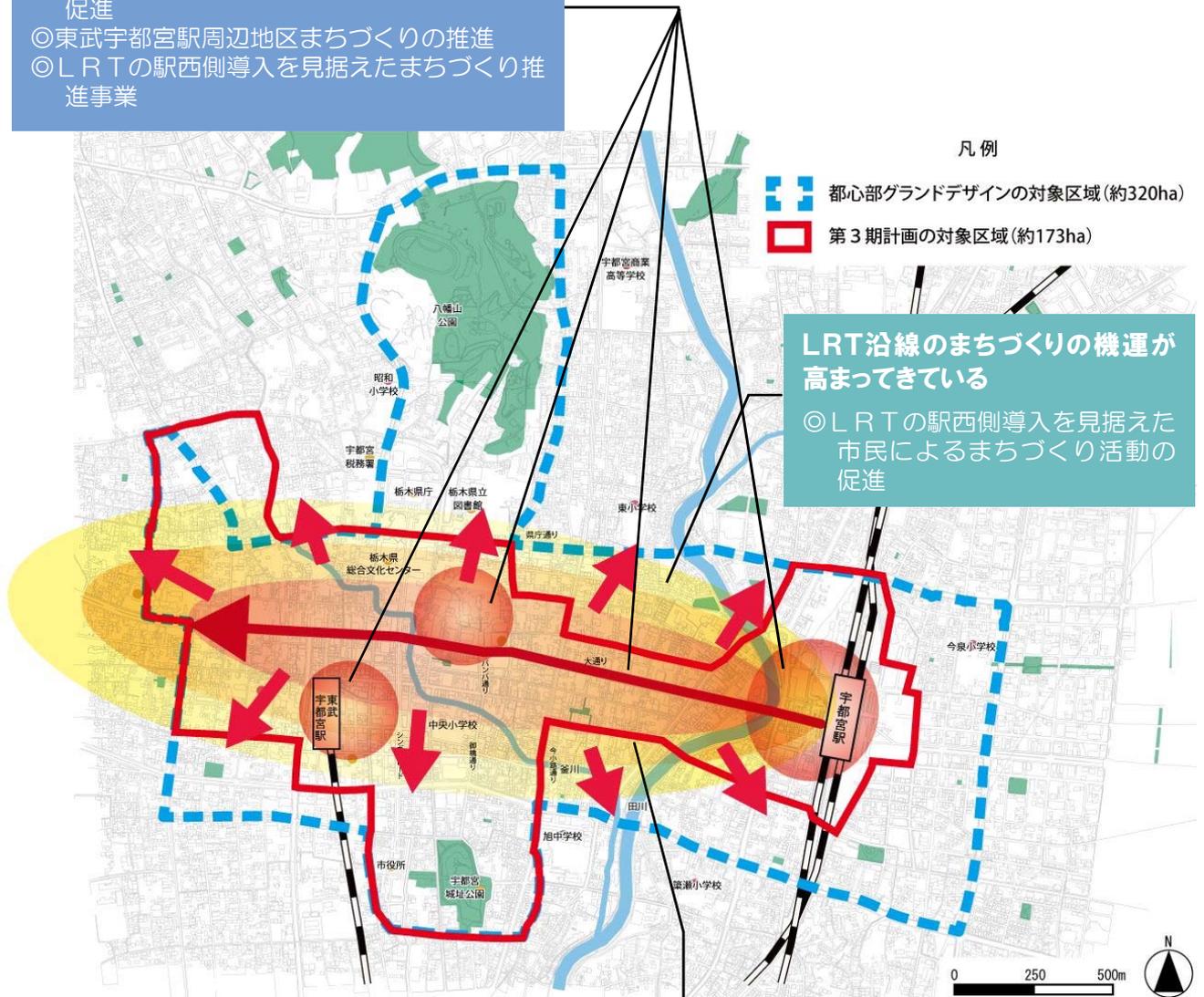
LRT沿線の交通結節点や停留場周辺において、民間主体によるLRTの導入を見据えた地元のまちづくりの機運が高まりつつある状況

**【戦略事業】**

- ◎LRTの駅西側導入を見据えた市民によるまちづくり活動の促進

## LRT沿線の整備に向けた動きが出てきている

- ◎ JR宇都宮駅西口周辺地区の整備
- ◎ 二荒山神社周辺における市街地再開発事業の促進
- ◎ 東武宇都宮駅周辺地区まちづくりの推進
- ◎ LRTの駅西側導入を見据えたまちづくり推進事業



## 移動しやすい環境づくりが進められている

- ◎ バス路線の充実
- ◎ 「自転車のまち宇都宮」の推進
- ◎ レンタサイクル拡充事業
- ◎ 交通ICカードの導入
- ◎ 駐車場の適正配置の推進
- ◎ ウォークラブルな歩行空間づくり
- ◎ 公共空間の利活用促進

## ■ 活性化戦略2のイメージ

## 4. 目標指標の設定

### (1) 目標指標設定の考え方

中心市街地における課題を解決し、第3期計画の将来像である「うごく つながる 心躍る みんなで創る 宮の街なか」の実現を目指すにあたり、その達成状況を把握するため、方針・施策ごとに以下に示す5つの目標値を設定します。

また、目標に対する到達状況を多角的かつ詳細に把握し、それぞれの目標値を補完するために、「補完指標」も併せて設定します。

	方針	施策	施策目標	目標指標
① 活力	「人・モノ・情報」を呼び込み、様々な活動を活発化させるまちづくり	様々な活動を活発化させる基盤づくり	誰もが多様な活動を活発に行い、活力に満ちた状態	事業所数
				【補完指標】 ・空き店舗数 ・空き店舗率
② 魅力	街なかの魅力を高め、多くの人を惹きつけるまちづくり	都市拠点にふさわしい個性や価値の向上	都市拠点ならではの個性や価値が高まり、魅力にあふれている状態	中心市街地の終日の歩行者・自転車通行量(平日・休日別, 11地点平均値)
				【補完指標】 街なかへの来訪頻度
③ 賑わい	多くの人交流し、恒常的な賑わいを生むまちづくり	恒常的な賑わいを創出する環境づくり	誰もが楽しく回遊・交流できる環境が整備され、賑わいに満ちている状態	※②魅力と同じ
				【補完指標】 JRコア・センターコアの3地点の終日の歩行者・自転車通行量(平日・休日別, JR駅東西自由通路・二荒山神社前・オリオンスクエア前)
④ 居住	多世代が住み続けられる安心・快適なまちづくり	安心して快適な住環境の創出	誰もが愛着と誇りをもって豊かに住み続けられる暮らしやすいまちが形成された状態	中心市街地内の居住人口
				【補完指標】 街なかに住みたいと思う市民の割合
⑤ 仕組み	活性化のための様々な取組を促進する仕組みづくり	様々なまちづくりの取組を促進する仕組みの強化	多様な主体が連携・補完し合いながら、活性化に向けて実効性の高い多彩な取組を進めている状態	タウンマネジメントによるコーディネートを行った事業件数
				【補完指標】 タウンマネジメントの強化に繋がる勉強会等の件数

## (2) 目標値の設定

### ① 活力

#### 【施策1】《活力》様々な活動を活発化させる基盤づくり

施策目標① 誰もが多様な活動を活発に行い、活力に満ちた状態

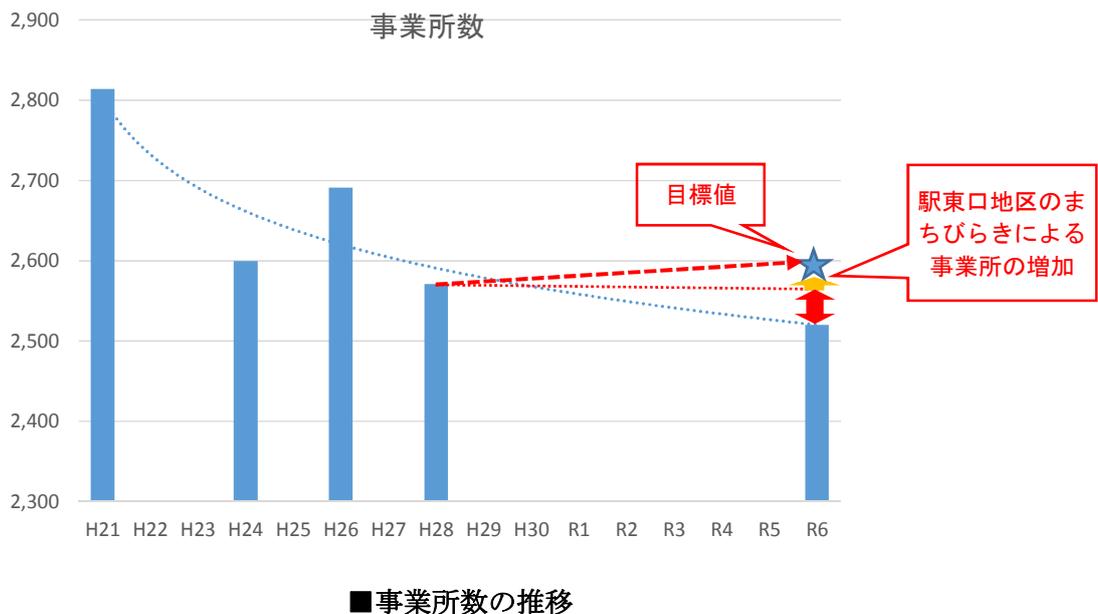
#### ◆ 目標指標1 中心市街地内の事業所数

多様な主体の活動の活発化による経済活力を把握するための指標として、中心市街地の「事業所数」を指標として設定します。

#### 【目標値設定の考え方】

オフィス企業の立地促進制度等により、中心市街地への本社・事業所等の新設・移転を促進することで、現状の事業所数を維持しつつ、JR宇都宮駅東口地区整備事業による事業所数の増を見込んだ事業所数を目標値として設定します。

基準値 (H28)	➔	目標値 (R6)
2,571 事業所	+20 事業所	2,591 事業所



## ◇ 補完指標 1 空き店舗数・空き店舗率

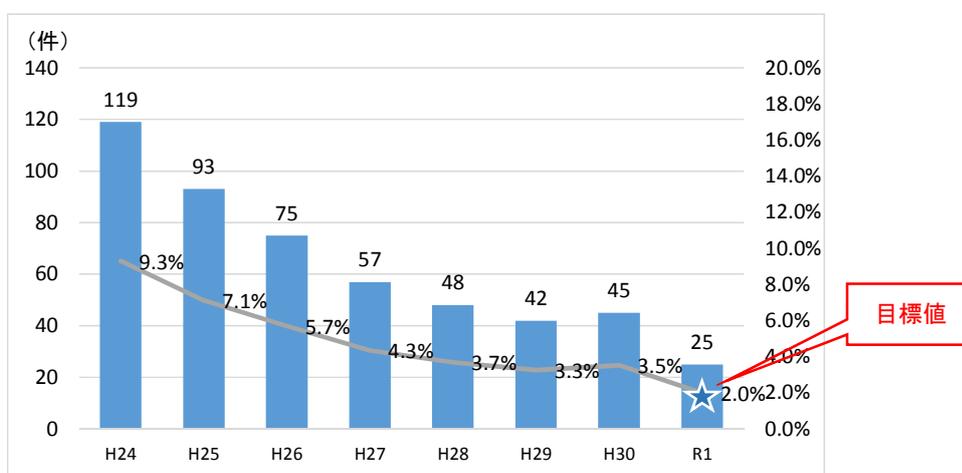
中心市街地内における商業集積の動向を把握するための指標として、空き店舗数・空き店舗率を補完指標として設定します。

### 【目標値設定の考え方】

空き店舗は、ピーク時より約8割減少しており、下げ止まりの傾向にあることから、空き店舗への出店促進等の取組を継続して実施していくことで、目標年次において基準値（R元）の空き店舗数以下とすることを目指します。

また、空き店舗数を把握している区域（「中心商業地出店等促進事業補助金」の対象区域）が、制度見直し等に伴い拡大・縮小された場合、空き店舗総数が変動する可能性もあることから、空き店舗の状況を詳細かつ的確に把握するため、空き店舗率も併せて設定します。

	基準値（R元）		目標値（R6）
空き店舗数	25 店舗	→	25 店舗以下
空き店舗率	2.0%		2.0%以下



■空き店舗数及び空き店舗率の推移

## ② 魅力

### 【施策2】《魅力》都市拠点にふさわしい個性や価値の向上

施策目標② 都市拠点ならではの個性や価値が高まり，魅力にあふれている状態

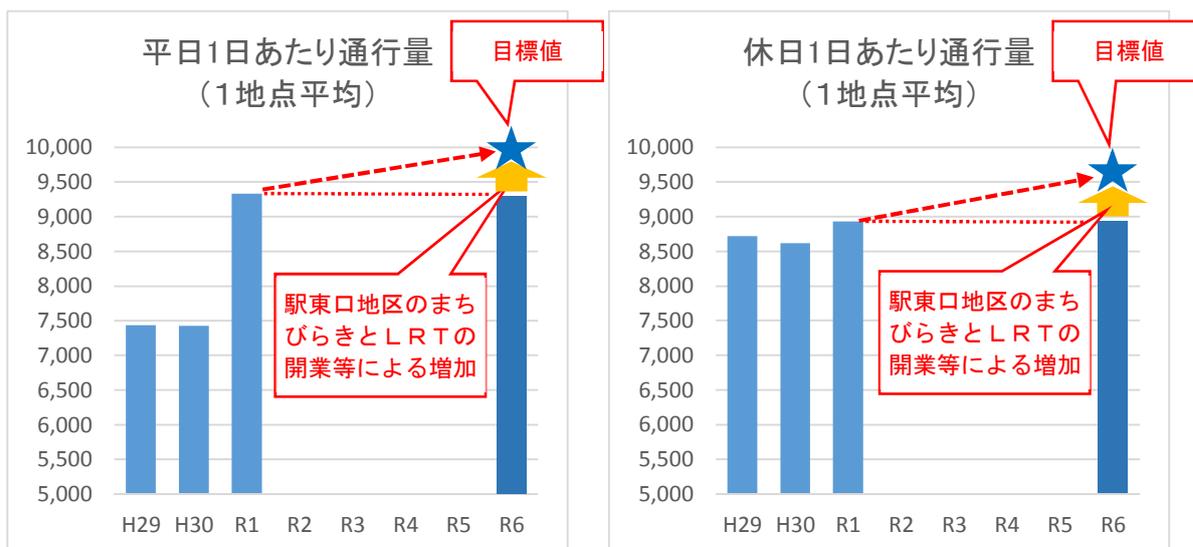
#### ◆ 目標指標2 中心市街地の終日の歩行者・自転車通行量（11地点の平均値）

多くの人々が街なかの魅力や価値に触れ、回遊していることを把握するための指標として、中心市街地内11地点における平日・休日（終日）の1地点当たりの歩行者・自転車通行量を目標指標として設定します。

##### 【目標値設定の考え方】

多彩なイベントの開催や様々な地域資源を活用した、歩いて楽しいまちづくり等を推進し、街なかの魅力や回遊性等を高めることで、現状の通行量を維持しつつ、JR宇都宮駅東口地区のまちびらきと、LRTの駅東側の開業等による公共交通の利便性向上に伴う通行量の増加を見込んだ通行量を目標値として設定します。

	基準値 (R元)	→	目標値 (R6)
平日	9,332 人/日	平日 : +568 人/日	9,900 人/日
休日	8,934 人/日	休日 : +766 人/日	9,700 人/日



■歩行者・自転車通行量（1地点あたりの平均値）

## ◇ 補完指標 2 街なかへの来訪頻度

街なかの魅力と価値の向上により、街なかへの市民の来訪意欲の高まりを把握するための指標として、「市政に関する世論調査」結果における中心市街地への来訪頻度に係る「週1～2回程度」の割合を補完指標として設定します。

### 【目標値設定の考え方】

街なかの魅力や価値を向上させることで、来街者の来訪頻度を高め、「週1～2回程度」の割合を「第1位」とすることを目標値として設定します。

基準値 (H30)		目標値 (R6)
来街頻度「週1～2回程度」の割合 第3位	➡	第1位

#### 【H30年度市政に関する世論調査結果】

- 第1位「月1～2回程度」(33.8%)
- 第2位「年に数回程度」(27.8%)
- 第3位「週1～2回程度」(20.8%)

#### 【H28年度市政に関する世論調査結果】

- 第1位「年に数回程度」(32.6%)
- 第2位「月に1～2回程度」(29.8%)
- 第3位「週1～2回程度」(17.0%)

■ 「市政に関する世論調査」結果における来街頻度の割合

### ③ 賑わい

#### 【施策3】《賑わい》恒常的な賑わいを創出する環境づくり

**施策目標③ 誰もが楽しく回遊・交流できる環境が整備され、賑わいに満ちている状態**

#### ◆ 目標指標3 中心市街地の終日の歩行者・自転車通行量（11地点の平均値）〔再掲〕

多くの人々が街なかを訪れ、回遊・交流し、賑わいが創出されていることを把握するための指標として、目標指標2と同じ中心市街地の11地点における平日・休日（終日）の1地点当たりの歩行者・自転車通行量を目標指標として設定します。

	基準値 (R元)	→	目標値 (R6)
平日	9,332 人/日	平日 : +568 人/日	9,900 人/日
休日	8,934 人/日	休日 : +766 人/日	9,700 人/日

#### ◇ 補完指標3 JRコア・センターコアの3地点における平日・休日の歩行者・自転車通行量（JR宇都宮駅東西自由通路・二荒山神社前・オリオンスクエア前）

駅東口のまちびらきとLRTのJR宇都宮駅東側の開業による賑わいの中心市街地への波及効果を把握するための指標として、JRコア・センターコアの平日・休日3地点における歩行者・自転車通行量（終日）を補完指標として設定します。

#### 【目標値設定の考え方】

JR宇都宮駅東西自由通路は、駅東口地区のまちびらきとLRTのJR宇都宮駅東側の開業等に伴う通行量の増加を見込んだ通行量を目標値として設定します。その他2地点（二荒山神社前及びオリオンスクエア前）は、JR宇都宮駅東西自由通路の増加率の5割相当分の増加率を見込んだ通行量を目標値として設定します。

#### ■ JR宇都宮駅東西自由通路の通行量

	基準値 (R元)	→	目標値 (R6)
平日	32,295 人/日	平日 : +4,705 人/日	37,000 人/日
休日	22,641 人/日	休日 : +5,959 人/日	28,600 人/日

■二荒山神社前の通行量

	基準値 (R元)	➡	目標値 (R6)
平日	8,393 人/日	平日 : +607 人/日	9,000 人/日
休日	5,858 人/日	休日 : +742 人/日	6,600 人/日

■オリオンスクエア前の通行量

	基準値 (R元)	➡	目標値 (R6)
平日	11,585 人/日	平日 : +815 人/日	12,400 人/日
休日	13,395 人/日	休日 : +1,705 人/日	15,100 人/日

#### ④ 居住

### 【施策4】《居住》安心して快適な住環境の創出

施策目標④ 誰もが愛着と誇りをもって豊かに住み続けられる暮らしやすいまちが形成された状態

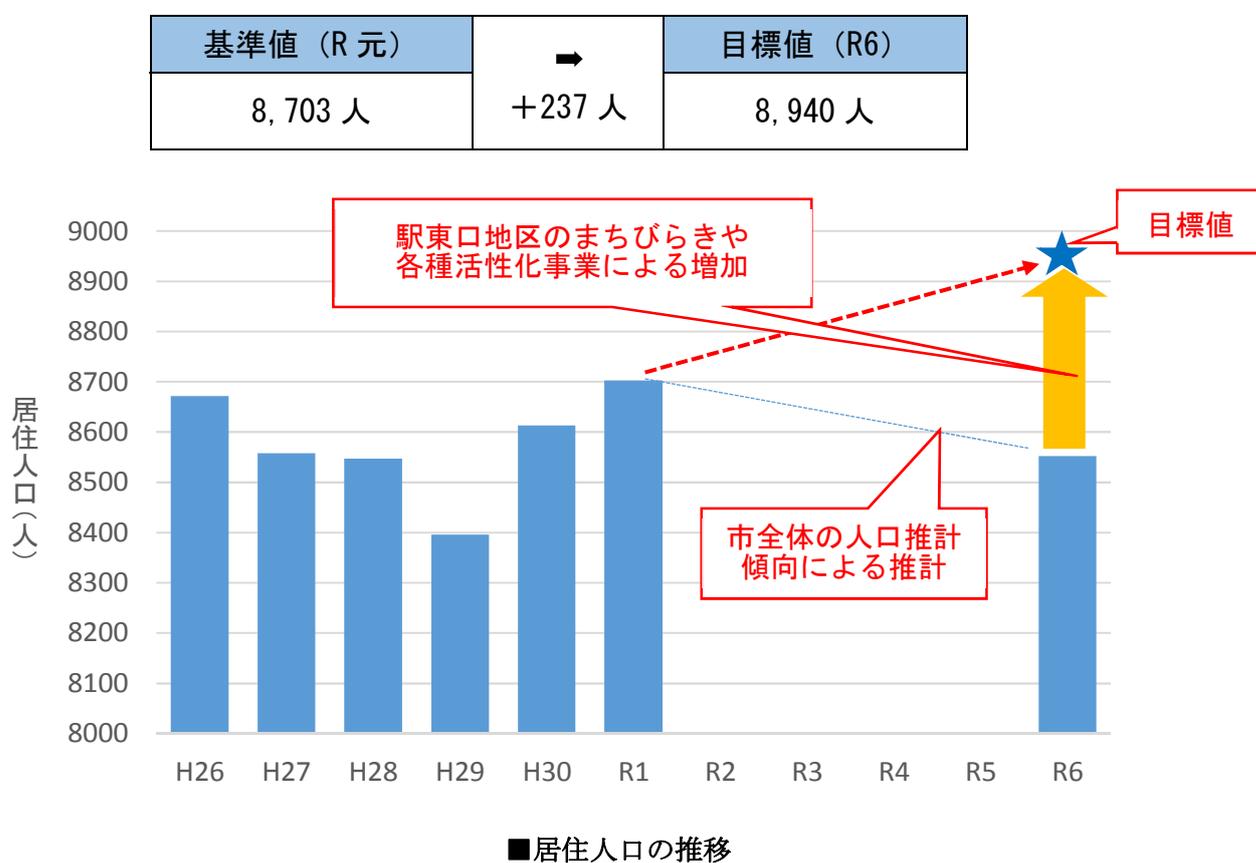
#### ◆ 目標指標4 中心市街地内の居住人口

安心して快適な住環境の創出により、誰もが住み続けられる暮らしやすいまちが形成されていることを把握するための指標として、中心市街地内の居住人口を目標指標として設定します。

#### 【目標値設定の考え方】

中心市街地内の人口は再開発事業等によるマンション供給により増加傾向にあるものの、市全体の人口は減少局面にあります。

そのため、市全体の将来人口推計から、目標年次の居住人口を推計した上で、駅東口地区のまちびらきや住宅の家賃補助・取得補助等の活性化事業による居住人口の増を見込んだ人口を目標値として設定します。



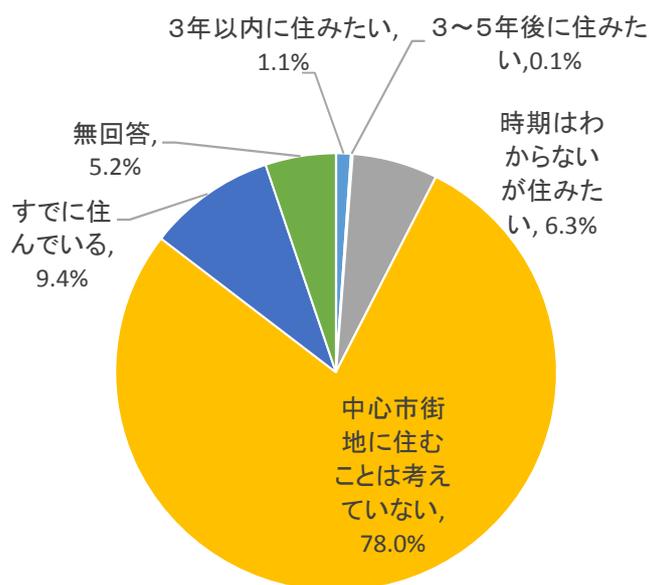
#### ◇ 補完指標 4 街なかに住みたいと思う市民の割合

市民における街なかへの居留意向の高まりを把握するための指標として、市民アンケート結果における中心市街地への居留意向（「3年以内に住みたい」・「3～5年後に住みたい」・「時期はわからないが住みたい」）の割合を補完指標として設定します。

##### 【目標値設定の考え方】

「街なかに住みたいと思う市民の割合」について、基準値から5年間で毎年1ポイント増加させることを目指し、5ポイント増加した割合を目標値として設定します。

基準値 (H30)	➡	目標値 (R6)
街なかに住みたいと思う市民の割合 7.5%	+5%	12.5%



■ 中心市街地への居留意向 (平成30年度)

## ⑤ 仕組み

### 【施策推進のために】《仕組み》様々なまちづくりの取組を促進する仕組みの強化

**施策目標⑤ 多様な主体が連携・補完し合いながら、活性化に向けて実効性の高い多彩な取組を進めている状態**

#### ◆ 目標指標 5 タウンマネジメントによるコーディネートを行った事業件数

様々なまちづくりの取組を促進する「仕組み」の強化が図られているかどうかを把握するための指標として、各施策・事業に取り組む主体間の新たな連携のマッチングや更なる連携強化などを推進する「タウンマネジメント」によるコーディネート等を通じて拡充・改善した既存事業の件数や、新たに事業化された件数を目標値として設定します。

##### 【目標値設定の考え方】

タウンマネジメント機能の発揮により、拡充・改善した既存事業や新たに事業化された事業について、累計12件実施（計画期間の2年目にタウンマネジメント機能が発揮され、4年間で毎年3件実施）することを目標値として設定します。

基準値 (R元)	➡	目標値 (R6)
0件	+12件	12件

※ 事業件数：タウンマネジメントのコーディネートにより、拡充・改善または他団体等と連携して実施した既存事業と、新たに事業化した事業の件数の合計

- ・ 拡充例⇒イルミネーション等のイベントの実施エリアの拡大
- ・ 改善例⇒各団体が開催するイベント等の情報を総合的かつ一括して周知・PRすることで、効果的・効率的な集客力の向上に繋げる 等

#### ◇ 補完指標 5 タウンマネジメントの強化に繋がる勉強会等の件数

「仕組み」の強化が図られているかどうかを補完する指標として、タウンマネジメントの強化に繋げるための関係団体等への勉強会・説明会のほか、関係団体等からの相談件数を補完指標として設定します。

##### 【目標値設定の考え方】

タウンマネジメント機能の強化に繋がる関係団体等への勉強会・説明会等について、累計96件実施（計画期間の2年目にタウンマネジメント機能が発揮され、勉強会・説明会・個別相談等を4年間で毎年24件実施）することを目標値として設定します。

基準値 (R元)	➡	目標値 (R6)
0件	+96件	96件

## 第5章

---

### 中心市街地の活性化に向けて取り組む事業

## 第5章 中心市街地の活性化に向けて取り組む事業

### ■施策体系と事業

方針	施策	No.	事業名	◎新規 ○拡充	継続	活性化 戦略1	活性化 戦略2
方針1 〔活力〕 「人・モノ・情報」を呼び込み、様々な活動を活性化させるまちづくり	施策1 様々な活動を活性化させる基盤づくり	1	J R宇都宮駅東口地区整備の推進		○	○	
		2	J R宇都宮駅西口周辺地区の整備		○		○
		3	東武宇都宮駅周辺地区まちづくりの推進	◎			○
		4	二荒山神社周辺における市街地再開発事業の促進	○			○
		5	L R Tの駅西側導入を見据えたまちづくり推進事業	◎			○
		6	L R Tの駅西側導入を見据えた市民によるまちづくり活動の促進		○		○
		7	駐車場の適正配置の推進	◎			○
		8	立地適正化計画による都市機能の誘導		○		
		9	街なかオフィス立地支援事業	○			
		10	公共空間の利活用促進	○			
		11	低・未利用地等の利活用促進		○		
		12	空き店舗活用事業		○	○	
		13	魅力ある商店街形成事業		○	○	
		14	街なか活動ポイント制度事業		○		
方針2 〔魅力〕 街なかの魅力を高め、多くの人を惹きつけるまちづくり	施策2 都市拠点にふさわしい個性や価値の向上	15	都市ブランド戦略の推進		○	○	
		16	魅力ある景観づくり事業		○	○	
		17	冬の夜間景観賑わい創出事業		○	○	
		18	夜の街なか回遊促進事業	◎		○	
		19	歴史的建造物保存・利活用事業	○			
		20	大谷石を活用した賑わい創出事業	○		○	
		21	餃子通りの魅力創出	◎		○	
		22	釜川整備活用事業		○	○	
		23	歴史文化に関する情報・交流機能の強化	◎			
		24	歴史・文化財活用促進事業		○		
		25	「自転車のまち宇都宮」の推進		○	○	○
		26	国際的スポーツイベントと連携した街なかの賑わい創出事業		○	○	
		27	J R宇都宮駅東口地区整備の推進【再掲】		○	○	
方針3 〔賑わい〕 多くの人々が交流し、恒常的な賑わいを生むまちづくり	施策3 恒常的な賑わいを創出する環境づくり	28	J R宇都宮駅東側へのL R Tの導入		○	○	
		29	交通I Cカードの導入	◎		○	○
		30	公共交通利用促進事業		○		
		31	バス路線の充実		○		○
		32	「自転車のまち宇都宮」の推進【再掲】		○	○	○
		33	レンタサイクル拡充事業	○		○	○
		34	ウォーカブルな歩行空間づくり	◎		○	○
		35	小幡・清住土地区画整理事業		○		
		36	駐車場の適正配置の推進【再掲】	◎			○
		37	L R Tの駅西側導入を見据えたまちづくり推進事業【再掲】	◎			○
		38	L R Tの駅西側導入を見据えた市民によるまちづくり活動の促進【再掲】		○		○
		39	I C Tを活用した観光情報の発信		○	○	
		40	キャッシュレス決済システム導入の促進	◎		○	
		41	情報発信・収集が可能なデジタルサイネージの導入	◎		○	
		42	インバウンド促進事業	◎		○	
		43	街なか「おもてなし」推進事業		○	○	
		44	愉快的な街の得するゼミナール「まちゼミ」事業		○	○	
方針4 〔居住〕 多世代が住み続けられる安心・快適なまちづくり	施策4 安心して快適な住環境の創出	45	中心市街地緑の回遊事業		○		
		46	中心市街地における文化振興事業		○		
		47	国際的スポーツイベントと連携した街なかの賑わい創出事業【再掲】		○	○	
		48	拠点広場における賑わい・交流向上事業	○		○	
		49	良質な民間賃貸住宅の供給促進		○		
		50	フレッシュマン・若年夫婦・子育て等家賃補助事業		○		
		51	マイホーム取得支援補助事業		○		
		52	街なか暮らし体験・魅力発信事業	◎			
		53	小幡・清住土地区画整理事業【再掲】		○		
方針5 〔仕組み〕 活性化のための様々な取組を促進する仕組みづくり	施策5 様々なまちづくりの取組を促進する仕組みの強化	54	安全で快適なまちづくり推進事業		○		
		55	多世代交流スペース（宇都宮市ゆうあいひろば）運営事業		○		
		56	地域教育推進事業		○		
		57	生活利便機能の充実		○		
		58	中心市街地活性化策提案事業		○		
		59	まちづくり担い手育成事業		○		
		60	街なか誘客のための情報発信の強化	○		○	
		61	M I C E等の誘致強化	◎		○	
		62	エリアマネジメント促進事業	◎		○	
		63	街なか全体のマネジメント促進に向けた体制強化	◎		○	

## 1. 「活力向上」事業

### (1) 事業の方向性

本市の中心市街地は、宇都宮二荒山神社や宇都宮城址公園、カトリック松が峰教会や社寺などの歴史・文化資源をはじめ、釜川プロムナード、オリオン通りなどの魅力的な都市空間、行政機関や商業施設、教育・文化施設など多様な都市機能を有し、宇都宮の「顔」としてその機能を果たしています。

しかしながら近年、事業所数は減少し、商業の中心である小売業の店舗数や年間商品販売額は減少傾向にあることから、今後も、経済活力の向上に向けた取組が必要です。また、多様なイベントが行われているものの、昼間の歩行者・自転車通行量は横ばいの傾向にあることから、恒常的な賑わいに繋げ、波及させていくために、多様な人々が活動し活躍できる環境を構築していくことが必要です。

こうしたことから、J R宇都宮駅東口地区のまちびらきやL R Tの開業を契機に、人・モノ・情報が集まり、多様な機能が集積する活力あふれる都市空間を構築し、様々な活動を活発化させるための取組を推進していきます。

### (2) 具体的事業の内容

#### 都市空間の整備

#### 1-1. J R宇都宮駅東口地区整備の推進

継続

戦略1

J R宇都宮駅東口地区において、公共と民間が適切な役割分担の下、交流と賑わいの創出、都市の魅力向上などに資する多様な高次な都市機能の導入による新たな都市拠点の形成を目指します。

【事業主体：宇都宮市、民間事業者】



#### 1-2. J R宇都宮駅西口周辺地区の整備

継続

戦略2

J R宇都宮駅西口周辺地区において、駅前広場の再整備や、市街地再開発事業等の地区整備を一体的かつ効果的に推進し、風格ある都市空間の創出や高次な都市機能の集積、交通結節機能の強化を図ります。【事業主体：宇都宮市、民間事業者等】

#### 1-3. 東武宇都宮駅周辺地区まちづくりの推進

新規

戦略2

東武宇都宮駅周辺地区の低・未利用地の利活用などによる中心市街地の賑わい創出や、L R Tをはじめとした公共交通の乗換え利便性向上などによる交通結節機能の強化を図るための地区整備に向けたまちづくりを推進していきます。【事業主体：民間事業者等、宇都宮市】

#### 1-4. 二荒山神社周辺における市街地再開発事業の促進

拡充

戦略2

千手・宮島地区、バンバ地区における市街地再開発事業を促進し、二荒山神社周辺における高次な都市機能の集積を図ります。【事業主体：民間事業者等】

### 1-5. LRTの駅西側導入を見据えたまちづくり推進事業

新規

戦略2

LRTの駅西側への導入を見据え、停留場周辺における優良建築物等整備事業等による老朽建築物や低・未利用地の共同化等を推進するとともに、まちづくりと一体となった都市計画制度等の活用による沿線の魅力ある空間と統一的な街並みの形成等を図っていきます。【事業主体：宇都宮市、民間事業者等】



### 1-6. LRTの駅西側導入を見据えた市民によるまちづくり活動の促進

継続

戦略2

民間団体等が主体となり、中心商店街（オリオン通りなど）等において、LRTのJR宇都宮駅西側導入を見据えた活性化事業の創出を図るとともに、LRTの導入に向けた市民の理解を促進する活動を進めていきます。

【事業主体：NPO法人宇都宮まちづくり推進機構、民間事業者】

## 都市機能の誘導

### 1-7. 駐車場の適正配置の推進

新規

戦略2

中心市街地のまちづくりと連携した駐車場の適正配置を推進し、低・未利用となっている駐車場の土地利用転換を促し、賑わいを創出する都市機能の誘導につなげることで、街なかの回遊性向上を図ります。

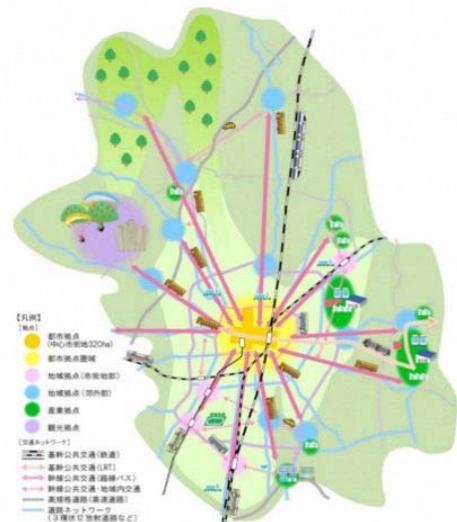
【事業主体：宇都宮市】

### 1-8. 立地適正化計画による都市機能の誘導

継続

「立地適正化計画」に基づき、医療・福祉施設、教育機関、商業、居住、文化・交流施設等の高次な都市機能の集積に向けた民間投資の喚起・誘導を図ります。

【事業主体：宇都宮市】



### 1-9. 街なかオフィス立地支援事業

拡充

オフィスを新・増設した場合の賃借料や改修費、新規雇用、法人市民税相当額に対する補助を実施することで、オフィス系企業の進出を支援するとともに、起業家に対する経営支援などのほか、インキュベーション施設を運営します。【事業主体：宇都宮市】

## 公共空間等の利活用

### 1-10. 公共空間の利活用促進

拡充

戦略2

公園、広場、道路、河川等において、イベントやオープンカフェ等による憩いと賑わいの空間を創出するなど、公共空間の有効活用を促進していきます。

【事業主体：宇都宮市，NPO法人宇都宮まちづくり推進機構】



### 1-11. 低・未利用地等の利活用促進

継続

低・未利用地（空き店舗・空きビル・空き地，コインパーキング等）の有効活用やリノベーションを推進し，店舗や住居，働く場（シェアオフィス，コワーキングスペース等），地域コミュニティ・子育て支援施設など，多様な都市機能を集積し，エリアの魅力向上を促進していきます。

【事業主体：宇都宮市，NPO法人宇都宮まちづくり推進機構】

### 1-12. 空き店舗活用事業

継続

戦略1

中心商業地の空き店舗に出店した経営者に対する内装改造費等の一部補助や，生活品の買い物支援，コミュニティ創出等を目的として商店街などが実施する空き店舗活用事業に対する家賃補助などの支援を行うほか，長期間，借り手のつかない空き店舗等（空きビルも含む）の解消に向けて，借りやすい仕組み等の構築を図ります。

【事業主体：宇都宮市，宇都宮商工会議所】

## その他ソフト事業

### 1-13. 魅力ある商店街形成事業

継続

戦略1

販売促進や賑わいづくりなどの商店街事業を実施した商店街等に対して，経費の一部補助を行うことで魅力ある商店街の形成を図り，地域経済の活性化を推進します。

【事業主体：宇都宮市】

### 1-14. 街なか活動ポイント制度事業

継続

中心市街地におけるイベントや助け合い活動，ボランティアへの参加等に対するポイント付与制度などにより，街なかにおける市民活動を促進します。

【事業主体：民間事業者，宇都宮市】

## 2. 「魅力向上」事業

### (1) 事業の方向性

本市の中心市街地には、南部の宇都宮城址公園などにまとまった緑が分布しているほか、中心部には田川、釜川が貫流しており、まちに潤いを与え、市民の憩いの場となっています。釜川ではプロムナード（遊歩道）が整備され、近年、名所となっている枝垂れ桜を鑑賞できる「川床（かわどこ）」の設置など、河川の持つ緩やかで潤いのある空間性に着目した、新たな憩いの空間づくりなどの取組も行われています。

また、全国区の知名度を誇る「宇都宮餃子」はもちろんのこと、全国でもトップクラスのバーテンダーによる「おもてなし」が味わえる「カクテル」や数多くの名プレイヤーを生み出している「ジャズ」によるまちづくりが観光資源として定着しているほか、日本遺産に認定された「大谷石文化」など、注目を浴びている地域資源が多く存在しています。

さらに、市が整備した拠点広場におけるイベントの開催やオリオン通りのオープンカフェなど、これまでの取組により休日・夜間を中心とした歩行者・自転車通行量は増加傾向にあり、賑わい創出に一定の成果がありました。その一方で、平日・昼間を中心とした歩行者・自転車通行量は減少傾向にあるほか、空き地等の低・未利用地が点在し、街並みの連続性が失われつつあります。

こうしたことから、本市中心市街地ならではの独自の価値と個性を発揮し、魅力ある都市空間の構築に向けた取組を推進していきます。

### (2) 具体的事業の内容

#### 情報発信

#### 2-15. 都市ブランド戦略の推進

継続

戦略1

アンテナショップ「宮カフェ」の運営などをはじめ、中心市街地の集客力・発信力などを活用し、本市のブランド価値向上に向けた各種事業を推進していきます。

【事業主体：宇都宮市、宇都宮ブランド推進協議会】



#### 景観形成

#### 2-16. 魅力ある景観づくり事業

継続

戦略1

釜川周辺地区及び宇都宮駅西口周辺地区、小幡・清住地区の景観形成重点地区の指定などにより、本市ならではの景観づくりを推進していきます。【事業主体：宇都宮市】



#### 2-17. 冬の夜間景観賑わい創出事業

継続

戦略1

冬季夜間の街なかの回遊性を高めるため、商店街沿道や拠点広場等のイルミネーション・ライトアップなどを実施します。【事業主体：NPO法人宇都宮まちづくり推進機構、民間事業者】

### 2-18. 夜の街なか回遊促進事業

新規

戦略1

本市を訪れた観光客等にジャズやカクテルなど、本市ならではの魅力ある夜型観光を体験してもらい、滞在時間の延長や宿泊などのナイトタイムエコノミーの取組を促進していきます。



【事業主体：宇都宮市，NPO法人宇都宮まちづくり推進機構】

### 2-19. 歴史的建造物保存・利活用事業

拡充

大谷石蔵等のデータベース化の推進、保存・利活用促進に向けた手法の構築や、市民等が保有する大谷石蔵等の保存・利活用に向けたマッチングを支援する「石蔵バンク」を運営します。

【事業主体：NPO法人宇都宮まちづくり推進機構，宇都宮市】

### 2-20. 大谷石を活用した賑わい創出事業

拡充

戦略1

大谷石蔵（旧公益質屋）を活用したレストランの管理・運営を行うなど、日本遺産に認定された「大谷石文化」の構成文化財を活用した賑わいスポットの創出と回遊性の向上を図ります。

【事業主体：NPO法人宇都宮まちづくり推進機構，宇都宮市】



### 2-21. 餃子通りの魅力創出

新規

戦略1

餃子店が集積している餃子通りにおける新たな魅力の創出と、来訪者への周遊促進機能を向上させるための多様なコンテンツの充実を図ります。

【事業主体：宇都宮市】



### 2-22. 釜川整備活用事業

継続

戦略1

釜川における「花」をテーマにした植栽や、釜川の四季折々の魅力発信と賑わいづくりのための「川床桜まつり」などの各種イベント等を実施します。

【事業主体：NPO法人宇都宮まちづくり推進機構】



### 2-23. 歴史文化に関する情報・交流機能の強化

新規

市民や来訪者に本市の歴史文化の特色や魅力をわかりやすく伝え、まちの魅力向上や賑わいの創出、回遊性向上に資する「歴史文化に関する情報交流機能」の整備を推進します。

【事業主体：宇都宮市】

#### 2-24. 歴史・文化財活用促進事業

継続

宇都宮城址公園ガイダンス施設における本市の歴史と文化財の周知啓発, 宇都宮市文化財ボランティア協議会による城址公園やカトリック松が峰教会等の解説・案内, 旧篠原家住宅の保存・公開を行うとともに文化振興事業の場として活用を進めていきます。併せて, 街なかにおける史跡や旧町名を解説する案内板の設置・充実を図ります。



【事業主体：宇都宮市】

### 都市空間の演出

#### 2-25. 「自転車のまち宇都宮」の推進

継続

戦略1

戦略2

自転車走行空間の整備や自転車の駅の設置, 宮サイクルステーションの運営等により, 自転車の利用の快適性・利便性を高め, 「自転車のまち宇都宮」を推進していきます。

【事業主体：宇都宮市】

#### 2-26. 国際的スポーツイベントと連携した街なかの賑わい創出事業

継続

戦略1

「3x3」や「ジャパンカップサイクルロードレース」等の国際的スポーツイベントの開催に合わせ, 中心商店街等と連携した賑わいの創出を行います。 【事業主体：宇都宮市】



©3x3 WORLD TOUR UTSUNOMIYA MASTERS 2018

#### 2-27. JR宇都宮駅東口地区整備の推進（再掲）

継続

戦略1

JR宇都宮駅東口地区において, 公共と民間が適切な役割分担の下, 交流と賑わいの創出, 都市の魅力向上などに資する多様で高次の都市機能の導入による新たな都市拠点の形成を目指します。

【事業主体：宇都宮市, 民間事業者】

### 3. 「賑わい創出」事業

#### (1) 事業の方向性

平成30（2018）年に実施した市民アンケートによると、5年前と比べ中心市街地が「賑わっている」と回答する市民の割合が増加しています。このことは、オリオンスクエアやバンバ広場の拠点広場などにおいて、国際的なスポーツイベントが毎年開催されるようになったことや、民間事業者をはじめ様々な主体によるイベントが毎週末のように開催されるようになり、特に大規模イベントにおいては、拠点広場に繋がるオリオン通りやバンバ通りなど、面的な広がりをもった取組として行われるようになったことなどが、理由として考えられます。

その一方で、低・未利用地が中心市街地に点在し、賑わいの連続性が失われているほか、大型商業店が撤退するなど、中心市街地の中枢性、求心性の低下がさらに加速することが懸念されています。

こうした中で、今後は、SDGsやSociety 5.0、東京オリンピックなどを契機としたインバウンド対応など、時代の潮流に乗り遅れることなく都市経営を推進しつつ、JR宇都宮駅東口のまちびらきとJR宇都宮駅東側のLRTの開業の集客効果を中心市街地全体に波及させるとともに、現在検討を進めているLRTの西側延伸による集客効果を最大限活用した取組を推進していくことが重要になります。

こうしたことから、誰もがアクセスしやすい便利で快適な交通環境の整備や、多くの人が街なかを楽しみながら回遊し、行き交うことのできる都市空間を構築する取組を推進していきます。

#### (2) 具体的事業の内容

##### 交通環境の整備

#### 3-28. JR宇都宮駅東側へのLRTの導入

継続

戦略1

安全で快適な移動手段を確保し、交通渋滞の緩和や環境負荷の低減、車利用からの転換を促進する公共交通ネットワークの要となる東西基幹公共交通としてのLRTの導入を進めます。

【事業主体：宇都宮市】



#### 3-29. 交通ICカードの導入

新規

戦略1

戦略2

交通ICカードの導入により、中心市街地におけるLRTやバスなどの公共交通の利便性向上を図ります。

【事業主体：宇都宮市】



### 3-30. 公共交通利用促進事業

継続

イベントなどの様々な機会を捉え、L R Tやバス等の公共交通の利用促進のための意識啓発を図り、そのための情報発信を行っていきます。【事業主体：宇都宮市】

### 3-31. バス路線の充実

継続

戦略2

L R Tの駅西側への導入と合わせた路線バスの再編による市内循環バス（きぶな）の充実を図ります。

【事業主体：宇都宮市】



### 3-32. 「自転車のまち宇都宮」の推進（再掲）

継続

戦略1

戦略2

自転車走行空間の整備や自転車の駅の設置、宮サイクルステーションの運営等により、自転車利用の快適性・利便性を高め、「自転車のまち宇都宮」を推進していきます。

【事業主体：宇都宮市】



### 3-33. レンタサイクル拡充事業

拡充

戦略1

戦略2

I C Tを活用したシェアサイクルの導入も視野に入れ、レンタサイクル事業の拡充を行っていきます。【事業主体：宇都宮市】

## 都市空間の整備

### 3-34. ウォーカブルな歩行空間づくり

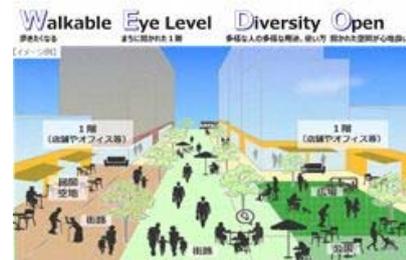
新規

戦略1

戦略2

「歩いて楽しい道路空間づくり（歩行者中心の道路空間の創出等）」を進めるため、まちづくりと一体となった都市計画制度等の活用によるL R T沿線の魅力ある空間と統一的な街並みの形成等、L R Tの導入に併せて大通りにおける道路空間の再編を推進します。

【事業主体：宇都宮市】



### 3-35. 小幡・清住土地区画整理事業

継続

小幡・清住地区における土地区画整理事業を推進し、本市交通ネットワークの骨格となる都心環状線を始めとする都市計画道路整備と併せて、地域の防災性の確保、バリアフリー化、都心居住の促進などの基盤整備と住環境の整備を図ります。

【事業主体：宇都宮市】



### 3-36. 駐車場の適正配置の推進（再掲）

新規

戦略2

中心市街地のまちづくりと連携した駐車場の適正配置を推進し、低・未利用となっている駐車場の土地利用転換を促し、賑わいを創出する都市機能の誘導につなげることで、街なかの回遊性向上を図ります。

【事業主体：宇都宮市】

### 3-37. LRTの駅西側導入を見据えたまちづくり推進事業（再掲）

新規

戦略2

LRTの駅西側への導入を見据え、停留場周辺における優良建築物等整備事業などによる老朽建築物や低・未利用地の共同化等を推進するとともに、まちづくりと一体となった都市計画制度等の活用による沿線の魅力ある空間と統一的な街並みの形成等を図っていきます。

【事業主体：宇都宮市、民間事業者等】

### 3-38. LRTの駅西側導入を見据えた市民によるまちづくり活動の促進（再掲）

継続

戦略2

民間団体等が主体となり、中心商店街（オリオン通りなど）等において、LRTのJR宇都宮駅西側導入を見据えた活性化事業の創出を図るとともに、LRTの導入に向けた市民の理解を促進する活動を進めていきます。

【事業主体：NPO法人宇都宮まちづくり推進機構、民間事業者】

## ICT技術の活用

### 3-39. ICTを活用した観光情報の発信

継続

戦略1

「宇都宮観光アプリ」などの運用をはじめ、ICTを活用した観光情報の発信を進め、観光客へのおもてなしの充実と回遊性の向上を図ります。 【事業主体：宇都宮市】

### 3-40. キャッシュレス決済システム導入の促進

新規

戦略1

キャッシュレスに特化したセミナーの開催や、ICT利活用推進補助金等の活用等を促進することにより、商店街等におけるキャッシュレス決済（クレジットカードやQRコード、電子マネー（交通ICカード含む）等による決済）が可能なシステムの導入を促進し、来街者へのおもてなしや集客力の向上を図ります。 【事業主体：宇都宮市】

### 3-41. 情報発信・収集が可能なデジタルサイネージの導入

新規

戦略1

AI・センサー等のICTを活用した観光・交通・商業などの情報双方向型のデジタルサイネージの設置により、インバウンドを含めた多様な来街者へのおもてなしと回遊性の向上を推進します。 【事業主体：宇都宮市、民間事業者】

### 3-4 2. インバウンド促進事業

新規

戦略 1

外国人の視点からの街なかの観光資源の掘起しやプロモーションの実施を行うほか、鉄道駅や主要なバス停留所、観光施設等において、数字や記号、ピクトグラム等を用いたあらゆる外国人旅行者に伝わる「案内サイン」の設置を進めます。また、鉄道事業者等と連携し、市内（大谷地区等）・市外（日光・益子・浅草等）のイベント情報やまちなかの魅力等の情報発信を行い、中心市街地への周遊を促進します。

【事業主体：宇都宮市，民間事業者】

### 3-4 3. 街なか「おもてなし」推進事業

継続

戦略 1

観光ボランティア事業や「赤ちゃんの駅」事業などにより、来訪者が「行きやすい」、「また行ってみたい」と思うまちづくりを推進するほか、オープンカフェやまちの駅など、来街者が気軽に立ち寄れる休憩スペースやトイレの確保等を行うなど、来街者へのおもてなしのための環境づくりを推進します。

【事業主体：宇都宮市，宇都宮観光コンベンション協会，NPO法人宇都宮まちづくり推進機構】

### 3-4 4. 愉快的な街の得するゼミナール「まちゼミ」事業

継続

戦略 1

中心商店街の各店主が講師となって各商品の専門知識や特性，ネットワークを活かした講座などを行う「まちゼミ」の開催により商店街，各商店のファンづくりを進め，商店街の集客力の向上を図ります。 【事業主体：宇都宮商工会議所】

### 3-4 5. 中心市街地緑の回遊事業

継続

市民等の多様な主体によるハンギングバスケットの街路灯への設置・管理や，主要施設（JR宇都宮駅，バンバひろば，オリオンスクエアなど）へのプランターの設置などを行う「中心市街地緑化事業」のほか，民間主体で空き地等を活用して公園と同等の空間を創出する取組を促進する「市民緑地認定制度」などを通じて，中心市街地内の緑化推進等による回遊性の向上を図ります。

【事業主体：宇都宮市】

### 3-4 6. 中心市街地における文化振興事業

継続

「うつのみや妖精ミュージアム」（うつのみや表参道スクエア内）における妖精資料活用事業の推進や，「市民ギャラリー」（うつのみや表参道スクエア内）における市民の文化活動の発表機会の提供のほか，JAZZをはじめとし，街なかで音楽を聴くことができる機会の創出（市民芸術祭軽音楽祭「ミヤギグ」の開催等）を図ります。 【事業主体：宇都宮市】

### 3-47. 国際的スポーツイベントと連携した街なかの賑わい創出事業（再掲）

継続

戦略1

「3 x 3」や「ジャパンカップサイクルロードレース」等の国際的スポーツイベントの開催に合わせ、中心商店街等と連携した賑わいの創出を行います。 【事業主体：宇都宮市】

### 3-48. 拠点広場における賑わい・交流向上事業

拡充

戦略1

拠点広場（オリオンスクエア、バンバ広場、宇都宮城址公園）を活用した賑わい創出を図るため、オリオンスクエアの機能向上による各種イベントの更なる質の向上や、中心市街地へ観光客等の来訪者を誘致し、回遊性を高めるための各種イベントを開催します。

【事業主体：宇都宮市，民間事業者】



## 4. 「居住促進」事業

### (1) 事業の方向性

本市の中心市街地の人口は、平成29(2017)年9月までは減少傾向にありましたが、民間事業者によるマンション建設が進められ、入居が進んだことで、平成30(2018)年9月には増加に転じており、さらに、平成31(2019)年1月の宇都宮大手地区第一種市街地再開発事業の工事竣工など、計画区域内におけるマンション建設のほか、住宅取得支援事業補助、若年夫婦・子育て世帯家賃補助の効果などにより居住人口は増加しています。

本市の総人口の将来推計を見ると、平成30(2018)年の約52万人をピークに減少に転じると見込まれており、中心市街地においても今後高齢化による自然減が進むものと予測されることから、更なる街なか居住を推進していくことが必要となります。

しかしながら、平成30(2018)年に実施した「中心市街地の活性化に関する市民アンケート調査」では、中心市街地に住んでみたいと思う人の割合は7.5%にとどまっており、中心市街地に不足しているものとして生鮮食品店舗を挙げる回答が多く、生活利便性の向上が課題として挙げられます。また、転出数も一定数あることから、今後の人口減少を鑑み、転入者を増やしていくとともに、転入した居住者が住みやすい、住み続けたいと思える生活利便機能の充実や安全・安心な生活環境、コミュニティの形成などに向けた取組を推進していきます。

### (2) 具体的事業の内容

#### まちなか居住の促進

#### 4-49. 良質な民間賃貸住宅の供給促進

継続

サービス付き高齢者向け住宅や地域優良賃貸住宅(子育て世帯・障がい者世帯等に特に配慮した良質な賃貸住宅)等の良質な民間賃貸住宅の供給促進策を検討します。

【事業主体：宇都宮市】

#### 4-50. フレッシュマン・若年夫婦・子育て等家賃補助事業

継続

中心市街地等の拠点区域における民間賃貸住宅へ転入・転居した、若年夫婦世帯やファミリー世帯、新卒採用者、結婚を希望する女性に対する家賃の一部の補助を行い、街なか居住を促進します。

【事業主体：宇都宮市】

#### 4-51. マイホーム取得支援補助事業

継続

中心市街地等の拠点区域において住宅を取得し、新たに転入・転居した世帯に対する住宅取得費の補助を行い、街なか居住を促進します。

【事業主体：宇都宮市】

#### 4-5 2. 街なか暮らし体験・魅力発信事業

新規

「みや暮らし体験事業」の一環として、街なかでのお試し居住を実施し、街なか暮らしの魅力や利便性等を体験してもらうことで居住を促進するとともに、体験事業と併せ、街なかの住みやすさや利点等について情報発信を行い、街なか居住を促進します。

【事業主体：宇都宮市】

### 居住環境の整備

#### 4-5 3. 小幡・清住土地区画整理事業（再掲）

継続

小幡・清住地区における土地区画整理事業を推進し、本市交通ネットワークの骨格となる都心環状線を始めとする都市計画道路整備と併せて、地域の防災性の確保、バリアフリー化、都心居住の促進などの基盤整備と住環境の整備を図ります。

【事業主体：宇都宮市】

#### 4-5 4. 安全で快適なまちづくり推進事業

継続

市民団体等と連携した防犯パトロールや地域による防犯灯・防犯カメラの設置を支援するとともに、違法駐車防止対策、自転車放置防止対策のほか、指導員等の巡回によるごみのポイ捨てや路上喫煙の防止対策により、安全で快適な中心市街地づくりを推進します。

【事業主体：宇都宮市】

#### 4-5 5. 多世代交流スペース（宇都宮市ゆうあいひろば）運営事業

継続

「ゆうあいひろば」（うつのみや表参道スクエア内）における子どもたちのあそび広場や、ファミリーサポートセンター・青少年エリア・カフェエリアの運営、一時預かり保育などを通じ、子育て世代をはじめとする多世代の交流の場を提供します。

【事業主体：宇都宮市】



#### 4-5 6. 地域教育推進事業

継続

中央生涯学習センターにおける人づくり・地域づくり事業や各種講座の開催などのほか、市民の生涯学習の拠点施設である「人材かがやきセンター」における人材育成・先駆的講座の開催を行い、地域教育や市民交流を推進します。【事業主体：宇都宮市】



#### 4-5 7. 生活利便機能の充実

継続

増加する居住者の日常的な買い物需要などに対応するため、生活利便機能を向上させる取組を推進します。

【事業主体：宇都宮市，NPO法人宇都宮まちづくり推進機構，宇都宮商工会議所，民間事業者】

## 5. 「仕組みづくり」事業

### (1) 事業の方向性

計画に掲げる将来像の実現に向けては、各施策に基づいてそれぞれの取組を推進していくだけでなく、それらをストーリーに応じて結び付けたり、相互に補完し合いながら効果を高めていくことが重要となってきます。

これまで、「NPO法人宇都宮まちづくり推進機構」や商店街等が大学や地域住民などと連携し、様々な取組を行ってきましたが、今後はより一層、そのような連携を強化し、すべての関係者が一丸となって各種活性化事業を総合的かつ一体的に、また、効果的・効率的に取り組んでいくことが必要です。

そのためには、各施策・事業に取り組む主体間の新たな連携のマッチングや更なる連携強化など、取組に対する助言や支援等のコーディネートを担う「タウンマネジメント機能」を強化し、まちの魅力や価値の向上、新たな担い手の発掘・育成などに取り組み、まちづくりの好循環を継続し、加速化させていくことが重要です。

### (2) 具体的事業の内容

#### 更なる活性化の推進

#### 5-58. 中心市街地活性化策提案事業

継続

中心市街地の活性化に資する研究や社会実験・検証などを行う団体等に対して、その研究や実験等に要する費用の一部を助成する「宇都宮街なか元気プロジェクト事業」の実施を通じて、中心市街地の課題解決に向けた活性化事業の提案・実施を促進します。

【事業主体：宇都宮市中心市街地活性化協議会】

#### 5-59. まちづくり担い手育成事業

継続

宇都宮まちづくり推進機構が実施する各種事業を通じ、まちづくりの担い手となる人材の確保・育成を行います。【事業主体：NPO法人宇都宮まちづくり推進機構】

#### 5-60. 街なか誘客のための情報発信の強化

拡充

戦略1

学生や高齢者などの恒常的な来街を誘発するために、イベントや観光資源、憩いの空間や商店街などの街なかの魅力について、対象者ごとに効果的な情報発信のあり方を検討し、実施していきます。【事業主体：NPO法人宇都宮まちづくり推進機構】

#### 5-61. MICE等の誘致強化

新規

戦略1

JR宇都宮駅東口地区のコンベンション施設の活用等を見据えたMICEの誘致や、フィルムコミッション事業等によるテレビ・映画・CMなどの撮影の誘致等を図るための仕組みを強化します。【事業主体：宇都宮観光コンベンション協会、宇都宮市】

### 5-6 2. エリアマネジメント促進事業

新規

戦略 1

民間団体や住民等が主体となり、公共施設や公共空間、民間施設の有効活用やその維持・管理、商店街全体のテナントミックス、地域のコミュニティづくり等を行うエリアマネジメントの仕組みの構築を進めます。【事業主体：宇都宮市，民間事業者】

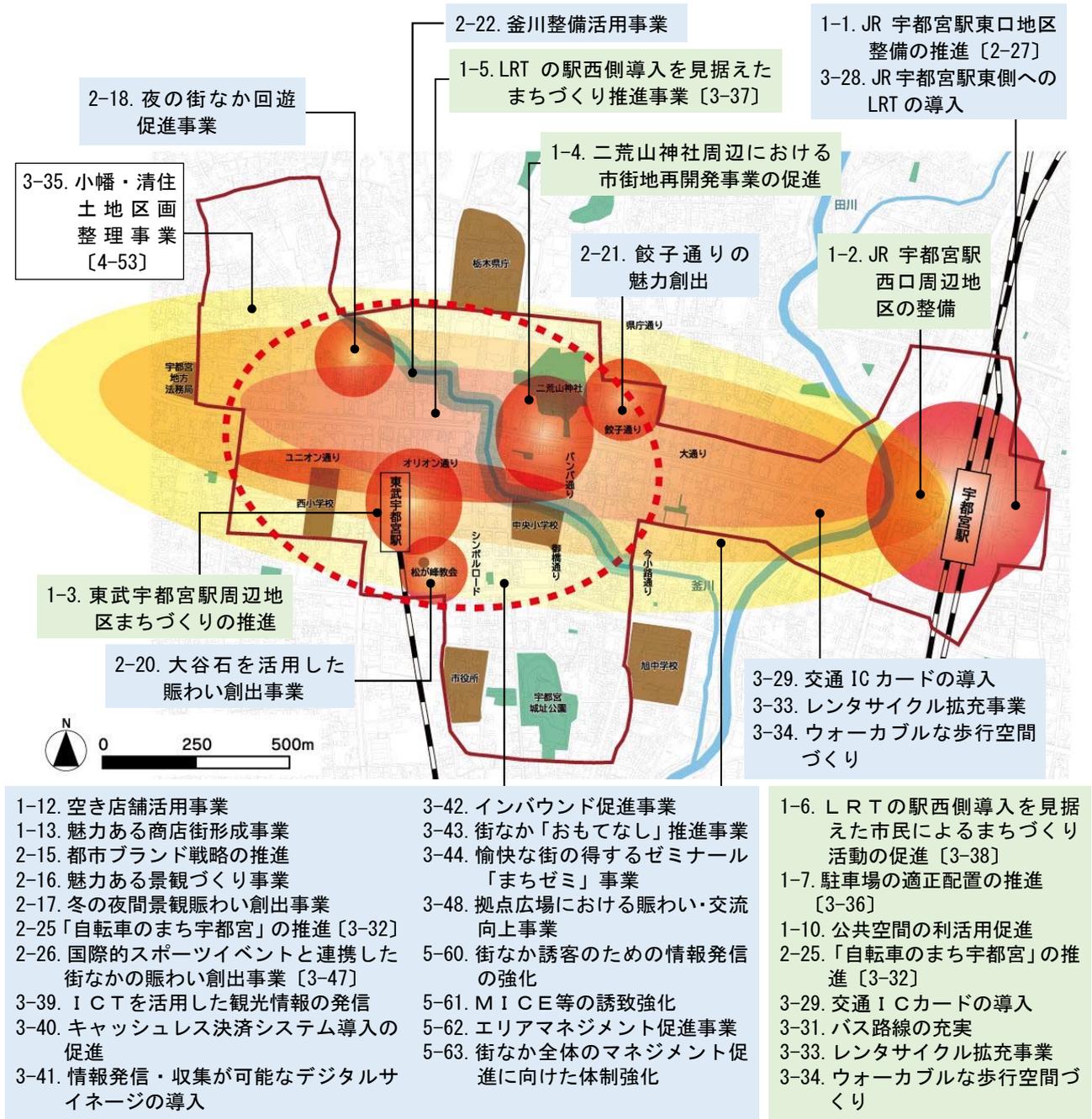
### 5-6 3. 街なか全体のマネジメント促進に向けた体制強化

新規

戦略 1

中心市街地全体の活性化に関する多様な関係者や関係団体との調整，助言・支援等を行うためのタウンマネジメント機能の導入を図ります。【事業主体：宇都宮市，民間事業者】

◇ 1～5までに掲げる事業の実施箇所



- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1-12. 空き店舗活用事業</li> <li>1-13. 魅力ある商店街形成事業</li> <li>2-15. 都市ブランド戦略の推進</li> <li>2-16. 魅力ある景観づくり事業</li> <li>2-17. 冬の夜間景観賑わい創出事業</li> <li>2-25「自転車のまち宇都宮」の推進 [3-32]</li> <li>2-26. 国際的スポーツイベントと連携した街なかの賑わい創出事業 [3-47]</li> <li>3-39. ICTを活用した観光情報の発信</li> <li>3-40. キャッシュレス決済システム導入の促進</li> <li>3-41. 情報発信・収集が可能なデジタルサイネージの導入</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>3-42. インバウンド促進事業</li> <li>3-43. 街なか「おもてなし」推進事業</li> <li>3-44. 愉快的街の得するゼミナール「まちゼミ」事業</li> <li>3-48. 拠点広場における賑わい・交流向上事業</li> <li>5-60. 街なか誘客のための情報発信の強化</li> <li>5-61. MICE等の誘致強化</li> <li>5-62. エリアマネジメント促進事業</li> <li>5-63. 街なか全体のマネジメント促進に向けた体制強化</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>1-6. LRTの駅西側導入を見据えた市民によるまちづくり活動の促進 [3-38]</li> <li>1-7. 駐車場の適正配置の推進 [3-36]</li> <li>1-10. 公共空間の利活用促進</li> <li>2-25. 「自転車のまち宇都宮」の推進 [3-32]</li> <li>3-29. 交通ICカードの導入</li> <li>3-31. バス路線の充実</li> <li>3-33. レンタサイクル拡充事業</li> <li>3-34. ウォーカブルな歩行空間づくり</li> </ul> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

上記以外の事業	
1-8. 立地適正化計画による都市機能の誘導	4-50. フレッシュマン・若年夫婦・子育て等家賃補助事業
1-9. 街なかオフィス立地支援事業	4-51. マイホーム取得支援補助事業
1-11. 低・未利用地等の利活用促進	4-52. 街なか暮らし体験・魅力発信事業
1-14. 街なか活動ポイント制度事業	4-54. 安全で快適なまちづくり推進事業
2-19. 歴史的建造物保存・利活用事業	4-55. 多世代交流スペース（宇都宮市ゆうあいひろば）運営事業
2-23. 歴史文化に関する情報・交流機能の強化	4-56. 地域教育推進事業
2-24. 歴史・文化財活用促進事業	4-57. 生活利便機能の充実
3-30. 公共交通利用促進事業	5-58. 中心市街地活性化策提案事業
3-45. 中心市街地緑の回遊事業	5-59. まちづくり担い手育成事業
3-46. 中心市街地における文化振興事業	
4-49. 良質な民間賃貸住宅の供給促進	

凡例	
<span style="border: 1px dashed red; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	第3期計画の対象区域 (約173ha)
<戦略区分>	
<span style="background-color: #ADD8E6; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	活性化戦略1
<span style="background-color: #90EE90; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	活性化戦略2
<施策体系ごとの事業区分>	
■	施策1: 「活力向上」事業
■	施策2: 「魅力向上」事業
■	施策3: 「賑わい創出」事業
■	施策4: 「居住促進」事業
■	施策5: 「仕組みづくり」事業

# 第 6 章

---

## 推進体制

## 第6章 推進体制

### 計画の推進に向けて

#### (1) 計画の推進体制について

第3期計画の将来像の実現に向け、計画に掲げる取組を着実に実施するとともに、計画の進捗状況の把握や、施策の取組の評価・検証を行いながら、庁内と庁外の推進組織を効果的に活用し、計画の実効性を高めてまいります。

#### ア 庁内推進体制

庁内関係課で構成する「中心市街地活性化推進委員会」において、関係課との協議・調整等を行いながら、庁内横断的な活性化事業に取り組み、第3期計画の事業の円滑かつ着実な推進を図ります。

#### イ 庁外推進体制

##### ① 宇都宮市中心市街地活性化協議会

商業事業者や宇都宮商工会議所、宇都宮まちづくり推進機構、行政等で構成する「中心市街地活性化協議会」において、毎年、事業の進捗状況を報告し、施策や取組の評価・検証を行うことはもとより、関係者が一丸となって、中心市街地の課題解決に向けた各種活性化事業の提案や事業化に向けた調査研究、検討を行います。なお、事業の検討等に当たっては、幹事会などを活用して随時必要な協議を行うとともに、研究内容の充実を図ることで、事業の具現化や改善などに取り組んでいきます。



■協議会の様子

写真：宇都宮市中心市街地活性化協議会

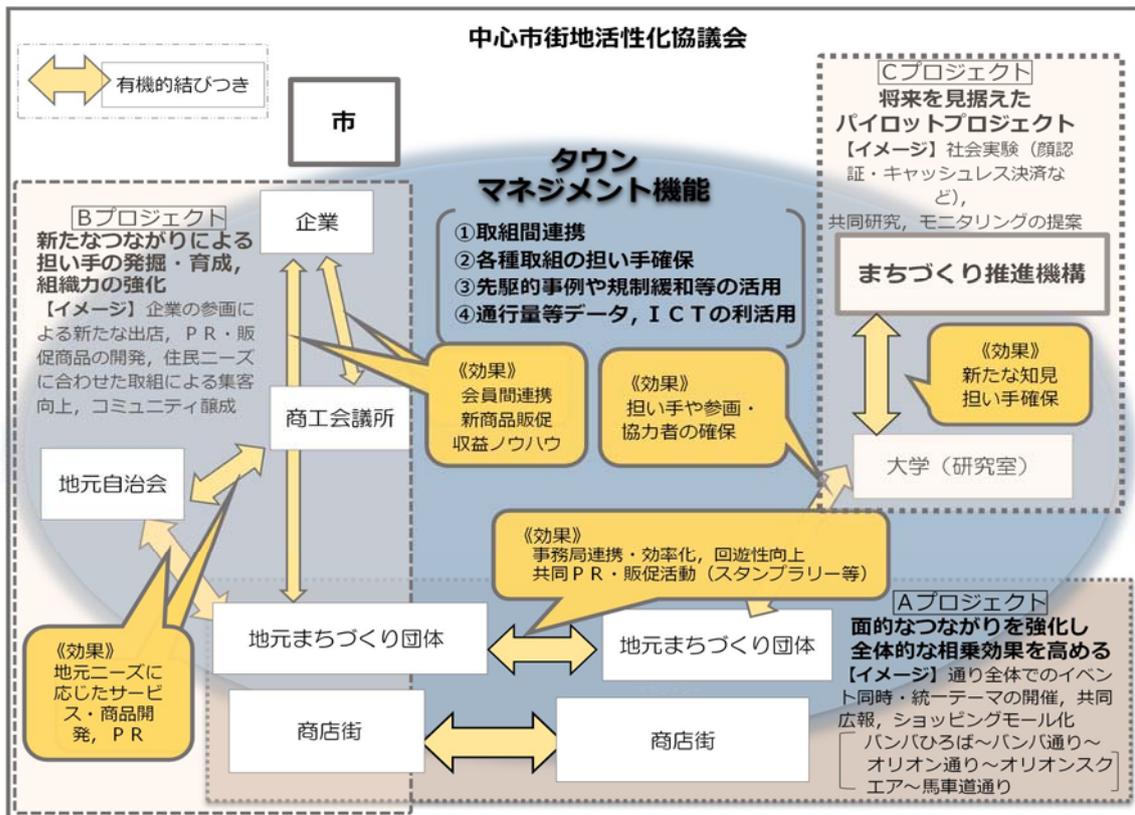
## ② 特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構

企業・団体、個人で構成される「宇都宮まちづくり推進機構」では、魅力ある中心市街地の活性化を図ることにより、本市の発展に寄与することを目的とし、公共と民間のはざま事業の推進、地域振興に寄与する民間事業への支援を行います。



## ③ タウンマネジメント機能

「中心市街地活性化協議会」・「宇都宮まちづくり推進機構」と商店街、大学、地域住民など民間業者等の関係者が一丸となって各種活性化事業を総合的かつ一体的に、また、より効果的・効率的に取り組んでいくため、各施策・事業に取り組む主体間の新たな連携のマッチングや更なる連携強化など、取組に対する助言や支援等のコーディネートを担当する「タウンマネジメント機能」を強化し、まちの魅力や価値の向上、新たな担い手の発掘・育成などまちづくりの好循環を図ります。



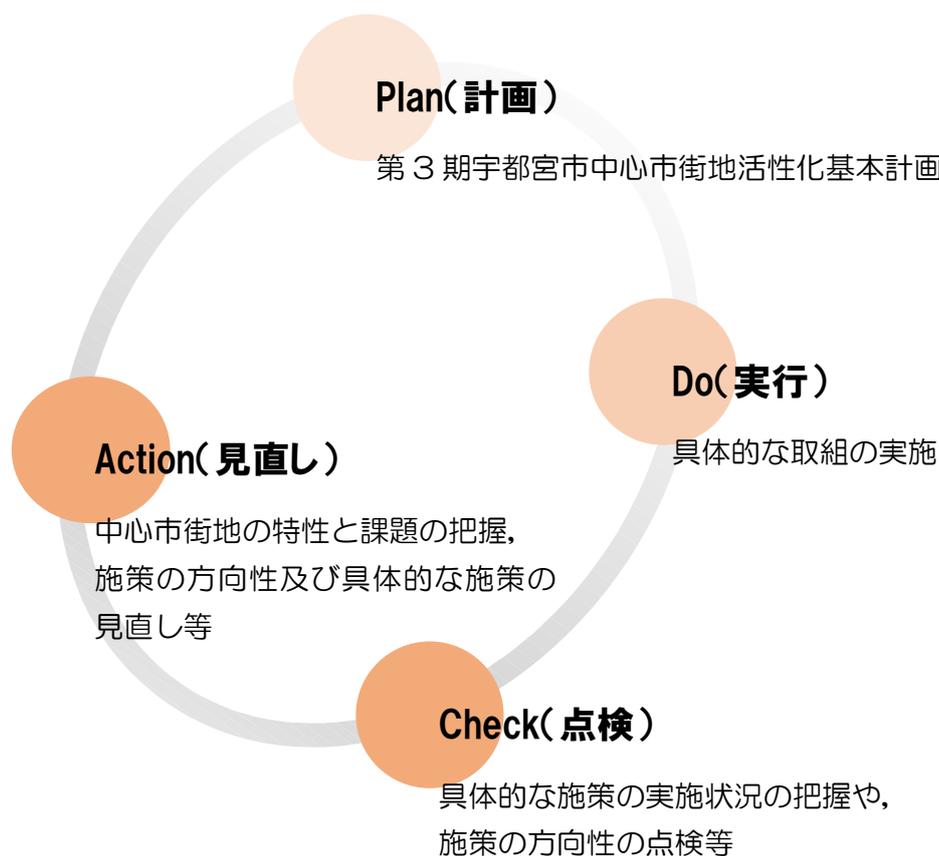
■タウンマネジメント機能のイメージ

#### ④ LRTまちづくり部会等

LRT導入を見据えた中心市街地のまちづくりを効果的に進めていくため、LRT事業に係る庁外検討組織である「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」の専門部会として、LRTと一体となった沿線のまちづくりについて検討を行う「LRTまちづくり部会」等と連携し、整合性をとりながら、活性化を推進していきます。

### (2) 計画の進行管理

第3期計画の施策の進捗状況については、目標指標や補完指標による達成状況の確認や各種統計データ等による現状把握を行うとともに、「中心市街地活性化推進委員会」及び「中心市街地活性化協議会」において随時評価をします。また、今後の社会潮流や国の中心市街地活性化政策の動向、上位・関連計画の見直しなどにあわせて、必要に応じて取組や計画の見直しを行い、PDCAサイクルのより一層の強化を図りながら進行管理を行います。



#### ■進行管理サイクル